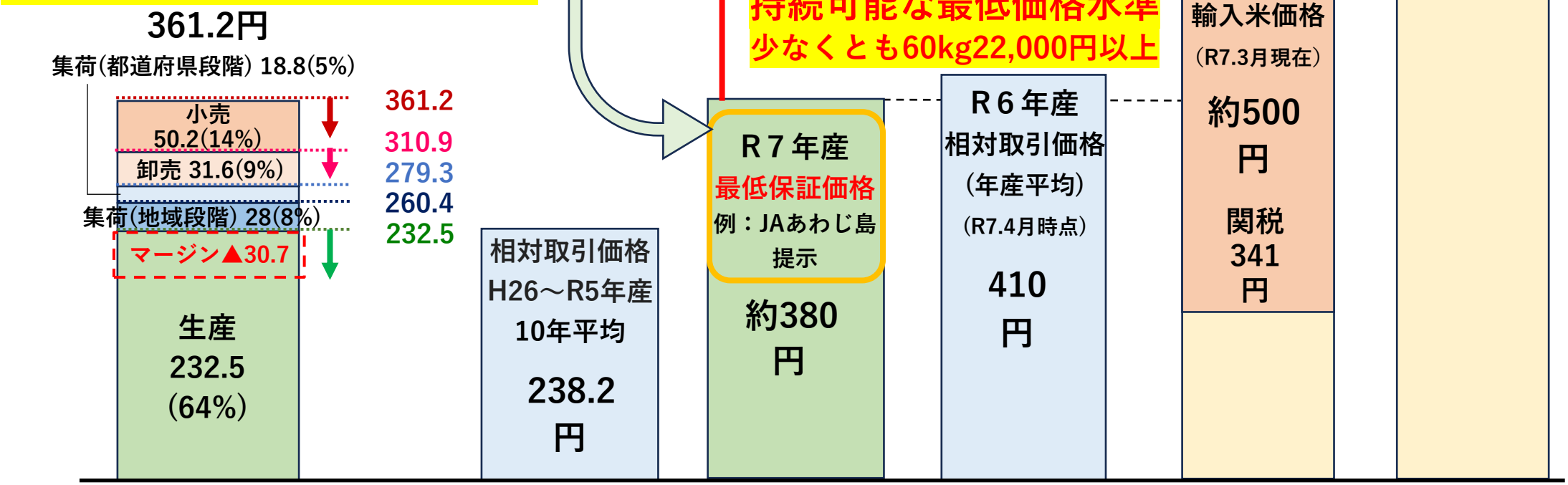
国産米の持続可能な最低価格水準【円／玄米１ｋｇ】

［ 相対取引価格 ］
ＪＡ等の集出荷業者と卸売業者との間で売買取引する際の主食用米の銘柄ごとの契約価格

［ スポット価格 ］
卸売業者の間で比較的小さい単位で必要なコメを調達しあう「スポット取引」における価格

JAあわじ島提示（30kg当たり）

［ 段階別コスト構造(R４年産・全国平均) ］



パネル①

令和7年6月9日　参議院決算委員会　公明党　高橋光男
出典：農林水産省新事業・食品産業部および農産局提供資料、JAあわじ島提供資料、新聞報道等を基に高橋光男事務所作成

米の増産に向けた国の具体的な取組の提案

① **『最低保証価格』**のような好事例の**全国普及を主導**する

② 新たな水田政策の策定に向けて、生産者にとっての
『コメの持続可能な最低価格水準』のあり方を示し、
実勢額が下回る場合は補填措置の導入も検討
（米国の価格損失補償(PLC)制度等も参考にした価格の下支え）

③ 生産性向上のための意欲的な取組だけでなく、
条件不利地生産、他種米を生産する農家・法人への支援
も一層強化
（例）中山間地・棚田での稲作への加算措置、酒米・飼料用米生産との両立支援等

令和7年秋 総合経済対策 → **令和8年 当初予算** → **令和9年 新たな水田政策** → **令和12年**

食料安全保障の観点も踏まえた農業予算の確保

新食料・農業・農村基本計画：初動５年間で農業の構造転換を集中的に推進←**コメ政策を中心に！**

パネル②

令和7年6月9日　参議院決算委員会　公明党　高橋光男
出典：農林水産省提供資料等を基に高橋光男事務所作成